

---

# 令和6年度予算案の要点

---

令和6年2月  
奈良県

ポイント 1 予算の使い方を抜本的に見直し

令和6年度予算案 5,440億円  
 (令和5年度6月補正後予算比 △38億円)

- ・ 継続事業の見直しを徹底し、**約21億円を廃止・見直し**  
 (事業の完了等と合わせ、約51億円の予算減)
- ・ これらの予算を、**重点政策分野に配分**

・ 事業の廃止	37事業	4.2億円
・ 事業の見直し	127事業	16.9億円
・ 事業の完了等	36事業	29.8億円

ポイント 2 財政調整基金を取り崩さず予算を編成

令和5年度に引き続き、県の貯金にあたる**財政調整基金からの繰入れを行わず**、今後の不測の事態への備えを確保

【財政調整基金からの繰入状況】 (予算ベース)

②21億円 ③30億円 ④30億円 ⑤一億円 ⑥一億円

【財政調整基金残高 259億円】 (令和6年度末残高見込み)

ポイント 3 県債の発行を抑制

なるべく将来世代に負担を先送りしないよう、**県債の発行を抑制し、残高が減少**



ポイント 4 より健全な財政に

交付税措置のない県債の残高と、県税収入額との比率を改善し、**財政の健全性を維持**

	交付税措置のない県債残高 A	県税収入額 B	A/B
令和5年度	3,471億円	1,251億円	2.8倍
令和6年度	3,435億円	1,272億円	2.7倍

# 令和6年度予算案について

## 一般会計の予算規模

令和6年度当初予算案 5,439億82百万円

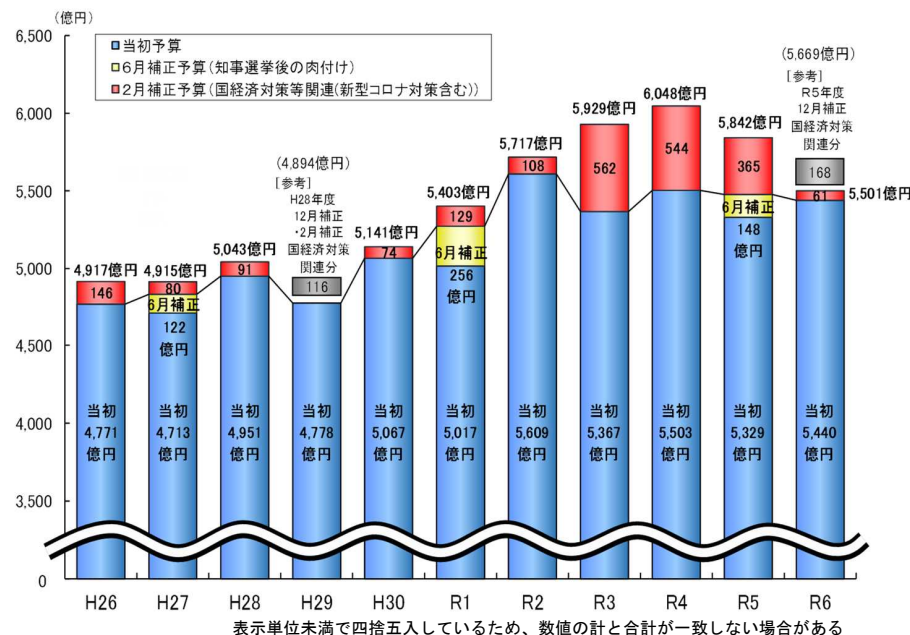
〔令和5年度6月補正後予算（5,477億37百万円）比〕  
 △37億55百万円 △0.7%

### ＜歳出の主な増減要因＞

・人件費	+6,510百万円	
退職手当	+3,419	退職手当以外 +3,091
・公債費	△5,767百万円	
元金	△5,953	利子 +186
・主な社会保障関係経費	+4,872百万円	
後期高齢者医療保険関係経費	+1,647	障害者自立支援給付 +1,186
障害児通所給付	+ 659	介護給付費負担金 + 355
認定こども園施設型給付費負担	+ 335	精神障害者自立支援医療費助成 + 301
指定難病医療費助成	+ 198	生活保護扶助費 + 126
国民健康保険関係経費	+ 106	
・県税交付金等	△1,894百万円	
県税交付金	△2,127	地方消費税清算金 + 233
・公共事業関係	+2,608百万円	
公共事業（補助、単独、直轄）	+2,188	
うち「ならの道リフレッシュプロジェクト・大宮通りの道路美化」	+1,727	
維持補修（道路・河川・ダム）	+ 419	
うち「ならの道リフレッシュプロジェクト」	+ 142	
・その他	△10,084百万円	
高校授業料無償化	+1,143	県立高校トイレットピカ5カ年計画 + 276
保育士処遇改善	+ 326	子ども医療費助成の拡充 + 91
教員の働き方改革	+ 185	脱炭素・水素社会の実現 + 316
税務総合システム改修	+ 594	大阪・関西万博関連 + 245
交通安全施設等整備・信号灯器のLED更新	+ 581	
運転者管理システムの共通基盤移行とマイナンバー一体化対応	+ 289	
国スポ・全スポ奈良大会に向けた施設整備	+ 208	
物価・エネルギー価格高騰対策（地方創生重点交付金活用）	△5,148	
大和平野中央の用地取得・管理	△2,521	広域防災拠点用地取得・管理 △2,277
知事・県議会議員選挙関係	△ 622	

など

## 一般会計予算規模の推移



### ＜主要な一般財源等の状況＞

・県税等	⑥ 208,797百万円 (R5.6月補正後比△1,816百万円 △0.9%)	
県税	123,800百万円 (	〃 △1,000百万円 △0.8%)
地方消費税清算金	54,759百万円 (	〃 △5,424百万円 △9.0%)
地方譲与税	26,038百万円 (	〃 +1,208百万円 +4.9%)
地方特例交付金	4,200百万円 (	〃 +3,400百万円 +425.0%)
・地方交付税+臨時財政対策債	⑥ 178,400百万円 (R5.6月補正後比+4,661百万円 +2.7%)	
・財政調整基金繰入金	⑥ 一億円 [⑤ 一億円]	

※交付税措置のない県債残高と県税収入額との比率 ⑥ 2.7倍 [⑤ 2.8倍]

# 行財政改革の取組

## 継続事業の見直し

事業効果の高い施策への重点化を図るため、既存事業の見直しを徹底

※金額は令和5年度6月補正後予算比。[ ]は一般財源。

### ① 事業の廃止

37事業 効果額 ▲ 419 [▲ 350] 百万円

〈主な事業〉	(単位：百万円)
・平城京天平祭 (平城宮跡でのイベント)	▲135 [▲135]
・(仮称)奈良県立工科大学の設置	▲ 72 [▲ 72]
・奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり(大立山まつり) (平城宮跡や奈良県コンベンションセンターでのイベント)	▲ 52 [▲ 52]
・MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館 (南部・東部地域の自然の中で開催される芸術祭)	▲ 50 [▲ 25]
・RINK LINK 天平広場 (コンベンションセンター天平広場に樹脂製スケートリンクを設置する等のイベント)	▲ 17 [▲ 17]
・各種「ジャーナル」(紙媒体)の発行 (電子媒体を活用した広報手法に見直すことによる廃止)	▲ 11 [▲ 11]
・みつえ高原牧場の整備	▲ 11 [▲ 3]
・えんがわ音楽祭 in 洞川 (天川村の洞川温泉街での音楽祭)	▲ 7 [▲ 7]
・奈良の仏像等海外展示	▲ 4 [▲ 4]

### ② 事業の見直し

127事業 効果額 ▲ 1,686 [▲ 775] 百万円

〈主な事業〉	(単位：百万円)
・近鉄奈良駅周辺の環境整備及びにぎわいイベント (近鉄奈良駅周辺のさらなる活性化に向け事業を統合)	▲ 58 [▲ 7]
・リニア中央新幹線調査検討事業 (調査・検討範囲の見直し)	▲ 35 [▲ 35]
・財政状況「重症警報」発令市町村への補助 (発令市町村への無利子貸付に見直し)	▲ 33 [ 0]
・「ぐるっとバス」の運行 (木簡型1日乗車券の廃止)	▲ 25 [▲ 25]
・奈良県みんなでたのしむ大芸術祭 (「みん芸フェスティバル」等のステージイベント等の見直し)	▲ 23 [▲ 23]
・広報アプリ「ナラプラス」、県HPのAIチャットボット等 (奈良スーパーアプリへ機能統合)	▲ 9 [▲ 9]
・ノンステップバスの購入補助 (EVバスの購入補助に見直し)	▲ 3 [▲ 3]
・やまと花ごよみ (馬見丘陵公園での花の植栽に合わせて実施するステージイベント等の見直し)	▲ 3 [▲ 3]

### ③ 事業の完了等

36事業 予算減 ▲ 2,976 [▲ 389] 百万円

# 目 次

## I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任

県民の命と財産を守るための防災力の強化 . . . . .	6
消防学校の移転整備 . . . . .	7
発達障害児（者）の支援 . . . . .	8
西和医療センターの移転整備 . . . . .	9

## II 奈良県の子ども、若者の未来への責任

こども・子育て施策の推進 . . . . .	11
高校授業料の無償化 . . . . .	14
こどもたちを支える学校現場の改革支援 . . . . .	15
県立高校トイレ環境改善 . . . . .	16

## III 豊かで活力ある奈良県を創る責任

脱炭素・水素社会の実現 . . . . .	18
新しい産業政策のパッケージ . . . . .	20
奈良スタートアップ・プログラム . . . . .	24
大和平野中央の県有地の活用 . . . . .	25
観光政策の新機軸 . . . . .	27
県産農産物等の輸出に関する取組 . . . . .	28
国スポ・全スポ奈良大会準備の推進 . . . . .	29
南部東部地域の振興 . . . . .	30

## IV 3つの責任をしっかりと果たすために

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定等 . . . . .	32
道路整備の加速化 . . . . .	33
ならの道 リフレッシュ プロジェクト . . . . .	34
大阪・関西万博を契機とした産業と観光の振興 . . . . .	35
県庁の働き方・職場環境の抜本的改革、採用改革 . . . . .	36
組織のあり方の大胆な見直し . . . . .	37

注) 本資料の数値については、表示単位未満で四捨五入しているため、数値の計と合計が一致しない場合がある

# **I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任**

## 新 広域受援体制検討事業

- 大規模かつ広範囲な災害に迅速かつ円滑な対応を図るため、広域防災拠点等における受援基本方針を策定
- 五條市県有地における受援機能確保の検討



応援部隊・物資の受入イメージ



防災ヘリポート



備蓄倉庫



【出典：熊本災害デジタルアーカイブ／提供者：松江市消防本部】

緊急消防援助隊の活動拠点



非常用電源

現在の消防学校は老朽化が著しく、敷地面積も狭いことなどから、県が保有する未利用地のうち、消防学校に適した旧高田東高等学校を移転場所を選定

## ① 消防学校移転整備の基本計画を策定

R6 予算案 7百万円 (R5 予算 - )

- ・ 消防救急活動に即した実践的な訓練を行える消防学校の整備に向けた基本計画を策定



移転



### 【現在の消防学校】

- 昭和48年設置（築50年経過）
- 所在地：宇陀市榛原下井足17-2
- 敷地面積：約1.0ha

### 【移転場所（旧高田東高等学校）】

- 所在地：大和高田市松塚200
- 敷地面積：約3.6ha

### 【移転整備後の訓練イメージ】

- ・ 実践的な訓練例  
(ホットトレーニング)

実際の火災の状況及び熱環境を体験できる訓練

〈問い合わせ先〉 知事公室 消防救急課 油谷課長補佐（内線2398）



# 発達障害児（者）の支援

R 6 予算案 8 8 百万円  
( R 5 予算 4 4 百万円 )

## ① 当事者とその家族に寄り添い、 伴走する体制の充実

R 6 予算案 6 0 百万円  
( R 5 予算 4 4 百万円 )

- ・ 県発達障害者支援センターの相談員増員(5名→7名)
- ・ 地域支援マネージャー新設(2名)
- ・ 市町村の乳幼児健診等における発達特性発見スキル向上のための研修を充実



## ② ① 新 早期に適切な発達支援につな げる仕組みの構築

R 6 予算案 1 6 百万円  
( R 5 予算 - )

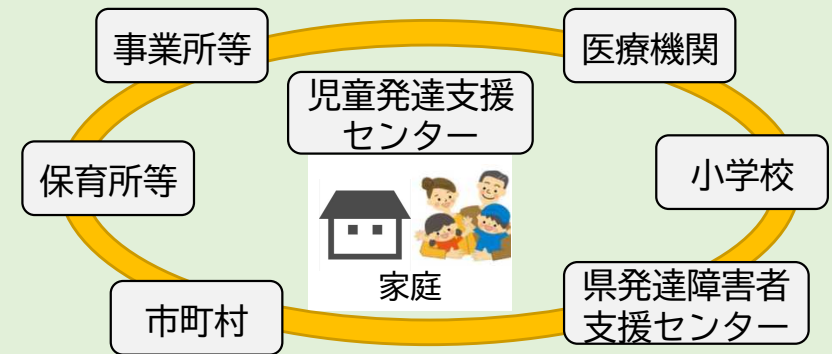
- ・ 県総合リハビリテーションセンターの小児科医師を増員( 1 診追加)
- ・ 発達障害医療を担える小児科医の育成のために専攻医を県総合リハビリテーションセンターに受入れ
- ・ 発達障害児を支援する拠点に診断前のアセスメントを行う専門職を配置



## ③ ① 新 当事者を中心に、地域でチームと して支援する体制の整備促進

R 6 予算案 1 2 百万円  
( R 5 予算 - )

- ・ 児童発達支援センターの設置や保育所への巡回支援等に取り組む市町村に対し補助
- ・ 診断に携わる医師間の連携強化、地域で支援を行う福祉事業所・学校等のネットワークの構築



(支援イメージ)

〈問い合わせ先〉 全般	福祉医療部	障害福祉課	松本課長補佐	(内線 2 8 3 2)
①②③	医療政策局	疾病対策課	橋本参事	(内線 2 9 3 1)
②	医療政策局	病院マネジメント課	辻課長補佐	(内線 3 1 2 2)

# 西和医療センターの移転整備

R6 予算案 131 百万円  
(R5 予算 100 百万円)

## ①新西和医療センター整備基本計画策定

R6 予算案 24 百万円 (R5 予算 28 百万円)

- ・令和5年12月に決定したJR法隆寺駅南側地区への移転建替に向けて、**整備基本計画**を策定
- 新西和医療センターの**医療機能や規模、施設整備**の内容を明確化

## ②新西和医療センター整備調査

R6 予算案 107 百万円 (R5 予算 72 百万円)

- ・新西和医療センターへの**アクセス機能確保**に関する**基礎調査**
- ・用地取得に向けた**用地測量、補償調査、地質調査**



JR法隆寺駅南側地区付近図



	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R13頃
基本計画策定	整備基本計画策定	候補地再検討	整備基本計画策定	基本設計、実施設計			移転・開院
構想策定			アクセス検討				
			測量調査 補償調査 地質調査	境界確定 不動産鑑定			

〈問い合わせ先〉 医療政策局 病院マネジメント課 辻課長補佐 (内線3122)

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任

# こども・子育て施策の推進

R 6 予算案 7,196百万円 R 5・2月補正予算案 106百万円  
R7~13債務負担行為130百万円 (R 5 予算 4,738百万円)

- 令和6年度において、本県のこども政策を総合的に推進するための「(仮称)奈良県こどもまんなか未来戦略」を策定予定
- 戦略の策定に先行して、必要な取組については可能な限り速やかに取り組むこととし、「奈良県こども・子育て推進本部」において決定した9つの取組方針に基づき、施策を実施

## 取組方針① こども・若者の視点に立った施策の立案と推進

### ○**新** こどもの意見を聴取する取組を実施

R 6 予算案 6百万円 (R 5 予算 一百万円)

- ・「(仮称)奈良県こどもまんなか未来戦略」の策定に際し、こどもの意見を聴取し、意見を反映させ、こども版未来戦略を策定

## 取組方針② ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革

### ○**新** 若い世代がライフデザインを描くサポートを実施

R 6 予算案 7百万円 (R 5 予算 一百万円)

- ・高校生等の若い世代が、ライフデザインを描くために必要な知識を習得できる動画を作成し、セミナー等でわかりやすく周知

## 取組方針③ 若い世代、ひとり親世帯の所得の向上

### ○ひとり親家庭の子育て支援を実施

R 6 予算案 2百万円 (R 5 予算 1百万円)

- ・ひとり親の就業及び自立を支援する奈良県スマイルセンターにおいて、ワンストップ機能を強化し、幅広い支援を実施
- ・養育費確保対策として、養育費に関する公正証書作成及び保証会社との養育費保証契約締結に要する経費に対し補助



## 取組方針④ 男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

### ○**新** 女性への有給インターンと受け入れ企業の働き方改革を支援

R 6 予算案 102百万円 (R 5 予算 一百万円)

- ・子育て中の女性など就労に踏み出せない女性に対して、有給インターン等を実施することにより、女性の正規雇用を促進するとともに、企業の働き方改革を支援

〈問い合わせ先〉 ① ② ④ こども・女性局 女性活躍推進課 南課長補佐 (内線 3 3 5 5)  
③ こども・女性局 こども家庭課 度會課長補佐 (内線 2 8 7 1)

# こども・子育て施策の推進

## 取組方針⑤ 個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目の無い支援の充実

### ○**新** 結婚支援コンシェルジュを配置

R 6 予算案 6 百万円 (R 5 予算 一百万円)

- ・結婚支援コンシェルジュを配置し、市町村等が取り組む婚活イベントなどを支援

### ○**新** 不妊治療助成を行う市町村への補助制度を構築

R 6 予算案 1 百万円 (R 5 予算 一百万円)

- ・市町村が行う不妊治療費用助成に対する補助制度創設に向けた協議の実施

## 取組方針⑥ 困難な状況に置かれているこども、子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

### ○**新** 児童相談所職員のスキルアップ研修の実施

R 6 予算案 4 百万円 (R 5 予算 一百万円)

- ・児童相談所職員のスキルアップを目指した研修の実施



### ○スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの拡充

R6 予算案 2 2 1 百万円 (R5 予算 1 4 8 百万円)

(P.15「こどもたちを支える学校現場の改革支援」参照)

## 取組方針⑦ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

### ○**新** 保育士の確保のため、保育士給与の処遇改善を実施

R 6 予算案 3 2 6 百万円 (R 5 予算 一百万円)

- ・民間保育所等における常勤保育士等の処遇改善（給与加算）に取り組む市町村に対し補助を実施
- ・施設における保育士給与等の処遇改善状況を公表することにより、保育人材の確保・定着を促進

《その他、別ページに掲載の取組》

### ○教員業務支援員配置事業費補助金

R 6 予算案 1 7 8 百万円 (R 5 予算 8 3 百万円)

(P.15「こどもたちを支える学校現場の改革支援」参照)

### ○高校授業料無償化

R 6 予算案 1,259 百万円 (R 5 予算 116 百万円)

(P.14「高校授業料の無償化」参照)

### ○県立高校トイレ環境改善

R 6 予算案 276 百万円 (R 5 予算 一百万円)

(P.16「県立高校トイレ環境改善」参照)

〈問い合わせ先〉

⑤ こども・女性局 女性活躍推進課 南課長補佐 (内線 3 3 5 5)

医療政策局 健康推進課 山口主幹 (内線 3 1 4 2)

⑥ こども・女性局 こども家庭課 度會課長補佐 (内線 2 8 7 1)

⑦ こども・女性局 奈良っ子はぐくみ課 大島主任調整員 (内線 2 8 7 2)

# こども・子育て施策の推進

## 取組方針⑧ 妊娠や出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実

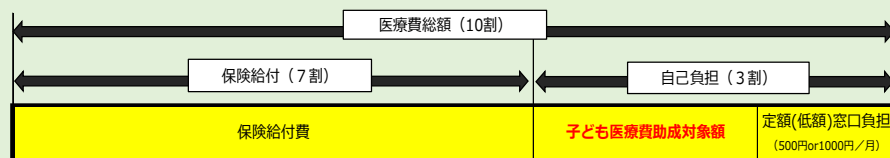
### ○子ども医療費助成の拡充

R 6 予算案 1,571百万円 (R 5 予算 1,480百万円)

- ・市町村が行う「子ども医療費助成」に対する県の補助基準について、R 5. 8月から所得制限の撤廃とともに、対象年齢を中学生から高校生世代にまで拡大
- ・R 6 から子育て世帯の更なる経済的負担軽減を図るため、低額の窓口負担で済む「現物給付方式」の対象年齢を、未就学児から高校生世代にまで拡大

※高校生世代までを補助対象としているのは、全国で6都府県のみ(福島県、東京都、静岡県、奈良県、鳥取県、長崎県) R5.8.1現在

<現物給付方式の概念図>



県から市町村に1/2を補助

## 取組方針⑨ こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

### ○**新**ぬくもりあふれる公園プロジェクト

R 6 予算案 178百万円 (R 5 予算 1百万円)

- ・令和6年度から令和10年度の5ヶ年でこども・子育て世代をはじめとした全ての世代にやさしい公園機能を拡充するため、県営都市公園の施設・設備の整備を実施



(例) 授乳施設の設置

### ○まほろば健康パーク

R 6 予算案 14百万円 (R 5 予算 80百万円)

R 7 債務負担行為 27百万円

- ・障害のある人もない人もすべての人が利用できる、インクルーシブ公園の検討

### (※) その他こども・子育て施策に係る予算

R6予算案 3,047百万円 R5・2月補正予算案 106百万円

R7~13債務負担行為 103百万円 (R5予算 2,831百万円)

〈問い合わせ先〉 ⑧ 医療・介護保険局 医療保険課 糸谷課長補佐 (内線2921)  
 ⑨ 地域デザイン推進局 公園緑地課 成戸課長補佐 (内線64193)  
 (※) こども・女性局 女性活躍推進課 南課長補佐 (内線3355)

# 高校授業料の無償化

**R6 予算案 1,259百万円**  
**(R5 予算 116百万円)**

## 高等学校授業料等の支援制度を拡充 (国の就学支援金に県が上乗せして支援)

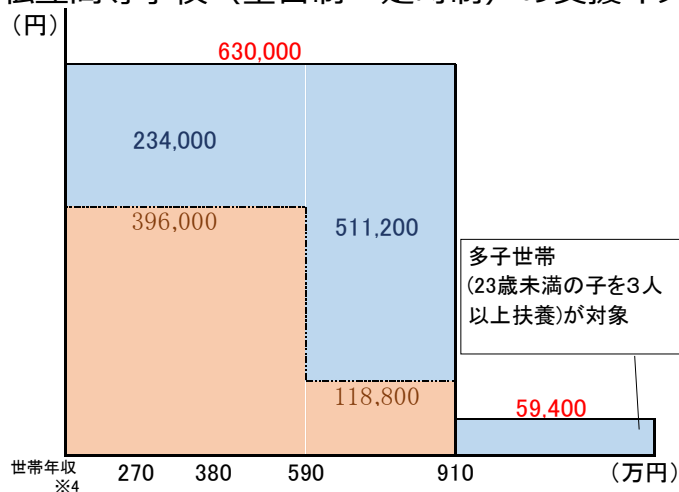
子どもたちが家庭の経済的状況にかかわらず、希望する進路を選択できるよう授業料や施設整備費等を支援

- ・ 県内に保護者が在住し、子どもが県内の高等学校等に通う世帯
- ・ 支援額

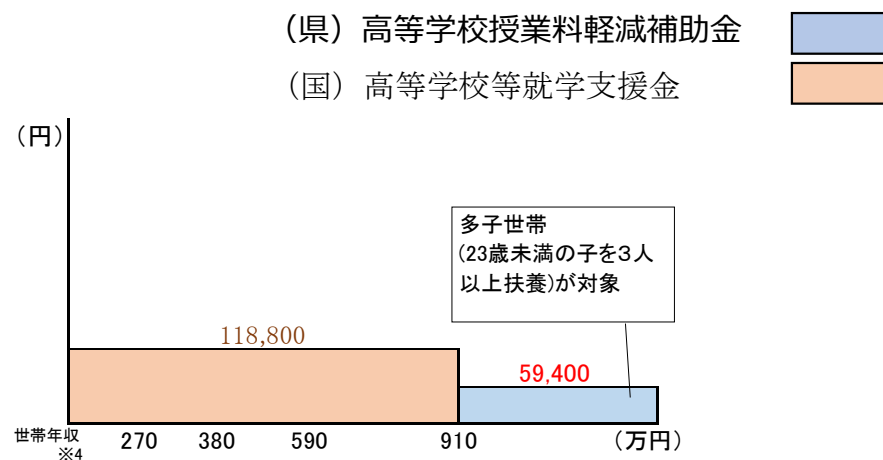
	世帯年収(目安)910万円未満の世帯	世帯年収(目安)910万円以上の多子世帯※3
①私立高校等※1	国の就学支援金と合わせ、最大63万円※2	最大5万9400円
②国公立高校	国の就学支援金により支援	最大5万9400円

※1 私立高等学校・高等専門学校・私立専修学校(高等課程(3年制)) (通信制高校については、県内に設置された県認可校に限る)  
 ※2 通信制は32万1000円  
 ※3 23歳未満の子を3人以上扶養する世帯

【私立高等学校 (全日制・定時制) の支援イメージ】



【県立高等学校 (全日制) の支援イメージ】



※4 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安

- 〈問い合わせ先〉
- ① 文化・教育・くらし創造部 教育振興課 池田課長補佐 (内線61242)
  - ② 教育委員会 学校支援課 甲斐課長補佐 (内線5286)

# こどもたちを支える学校現場の改革支援

**R6予算案 587百万円**  
**(R5予算 321百万円)**

## I. 様々な課題を抱えるこどもたちへの支援

R6予算案 221百万円 (R5予算 148百万円)

### ○スクールカウンセラー (SC) 及びスクールソーシャルワーカー (SSW) の拡充

- ・ SCの小学校への配置を30校から77校へ
- ・ SSWの各中学校区への派遣を54校区から81校区へ、また1校区あたり12日から24日へ
- ・ ヤングケアラー支援室へ支援コーディネーター1名、SSW4名、SC2名を配置

## II. 教員の負担軽減

R6予算案 358百万円 (R5予算 173百万円)

### ①教員業務支援員配置促進事業の拡充

- ・ 従来の市町村負担分を県が負担し、**全校配置を目指す**

### ②学力向上を目的とした学習支援員等配置促進事業の拡充

- ・ 公立小中学校等に学習支援員等を配置する市町村に対し、一部県負担化した上で補助

### ③部活動指導員配置促進事業の拡充

- ・ 公立中学校に部活動指導員を配置する市町村に対し補助

### ④副校長・教頭マネジメント支援員配置事業の新設

- ・ 公立小中学校に学校マネジメント等に係る業務を支援する人材を配置

## III. 学校における障害者雇用の促進

R6予算案 9百万円 (R5予算 - )

- ・ 障害者雇用に係る課長級をヘッドとする専門チームを教育委員会内に設置。
- ・ 学校現場の業務内容を精査して雇用を創出。長期的な雇用計画を策定。

### 〈問い合わせ先〉

教育委員会

I 教育研究所 湊部長、高木主幹 0744-33-8908  
II ① 教職員課 塩野課長補佐 (内線5232)  
II ② 高校の特色づくり推進課 松原主幹 (内線5253)  
II ③ 学ぶ力はぐくみ課 丹下課長補佐 (内線5351) 【文化部担当】  
健康・安全教育課 高田課長補佐 (内線5312) 【運動部担当】

II ④ 教職員課  
III 教職員課

太田課長補佐 (内線5231)  
塩野課長補佐 (内線5232)



## ①県立高校トイレピッカピカ5か年計画を推進

R6予算案 276百万円 (R5予算 - )

- ・令和6～10年度の5年間で、県立高校のトイレ洋式化・乾式化等工事を実施
- ・令和6年度は全校について、設計業務を実施

～現在の県立高校のトイレ～



～改修後イメージ～



〈問い合わせ先〉 ① 教育委員会 学校支援課 岡方課長補佐 (内線5281)